

Migrator for Notes to SharePoint

IBM NotesからSharePoint 2016およびOffice 365へのZeroIMPACT移行を実現

新しいMicrosoftテクノロジーを導入しながら、IBM Notesアプリケーションを維持するには多大なコストと労力がかかります。その負担を考慮すれば、Notesインフラストラクチャを廃止し、アプリケーションをSharePointに移行し、プラットフォームをMicrosoftに標準化するのが合理的です。

しかし、NotesからSharePointへの移行は、移行方法によっては複雑かつ高コストなプロジェクトになる可能性があります。また、データ損失、コンプライアンスの懸念、IT部門の作業負荷の増大、ユーザーの生産性を低下などの問題が生じる恐れがあります。また、移行作業の複雑さやコスト計算が難しいため、プロジェクト管理を困難にする1つの要因となります。

Migrator for Notes to SharePointを使用すると、IBM Notes、QuickPlace/Quickr、Domino.Docのアプリケーションを高い再現性と最低限のダウンタイムで、SharePoint 2016、Office 365、ハイブリッド環境に移行できます。このツールによって、次のことが可能になります。

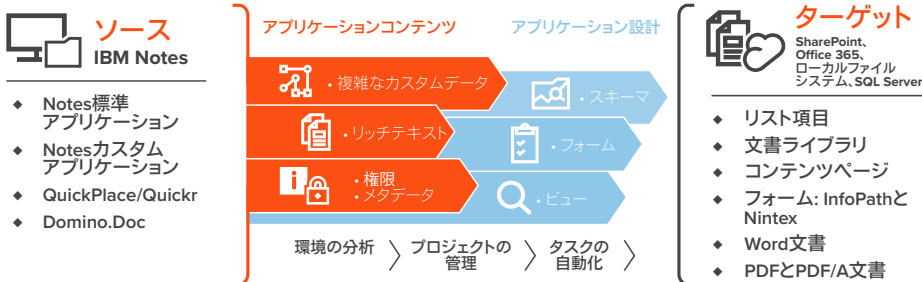
- アプリケーションの複雑さにかかわらず移行でき、リスクを軽減します。
- 移行前にNotesデータベースを分析することで、アプリケーションの複雑さと重要性などをアセスメントできます。
- カスタムアプリケーションの移行に伴うコストとリスクを軽減します。

直感的に使える管理コンソールやシームレスな移行機能により、移行を効率よく実施できるため、データ損失やプロジェクトの失敗を回避できます。

特長

スキャンと計画 - Migrator for Notesは、Notes、QuickPlace/QuickrまたはDomino.Docのデータベース情報を収集し、そのデータを用いて分類、複雑さ、構造、設計などの分析に役立ちます。開発リソースが必要なアプリケーションの特定、使用されていないアプリケーションの識別、移行する必要がないアプリケーションを迅速に判断できます。収集された分析データは、プロジェクトの管理と自動化にも役立ちます。

Notes移行を効率よく実施 高い信頼性で移行またはアーカイブ



Migrator for Notes to SharePointは、Notesコンテンツを高い再現性でオンプレミスやSharePoint Onlineへ移行できます。

私たちは、古いツールを使用してすべてのデータベースを移行するには、4か月以上かかると考えていました。しかし、Migrator for SharePointを使用した結果、わずか1か月で60個のデータベース移行が完了し、5万ドル相当の時間とリソースを節約しました。

Andy Stoker氏、インターネットマネージャ、フィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービス

メリット:

- インベントリの移行前アセスメントを実施し、アプリケーションの複雑さや要件を評価
- アプリケーションの複雑さにかかわらず、データの正確性を高水準に維持しながら移行を実施
- SharePointの標準機能を使用して、Notesアプリケーション移行時の開発作業を最小限に抑えることが可能
- 直感的に使える管理機能と高度なレポート作成機能で、プロジェクトを効率よく実施
- オンプレミス、オンライン、またはハイブリッドのSharePoint環境にNotesアプリケーションを移行
- 文書を高品質なWord、HTML、PDF、PDF/A形式などに迅速かつ効率的にアーカイブ可能

システム要件

NOTESのデータ抽出

Windows Vista Service Pack 2、
Windows 7 Service Pack 1、
Windows 8、Windows Server
2008、Windows Server 2008
R2、Windows Server 2012、
Windows Server 2012 R2

Notes 8.5.3以降

.NET Framework 3.5および4.0
(両方が必要)

SHAREPOINTデータロード (WEBサービスを使用)

Webサービスが有効な
SharePoint 2010、2013または
2016サーバ

SHAREPOINTデータロード (IMPORT SERVICEを使用)

Windows 7、Windows Server
2008、Windows Server 2008
R2、Windows Server 2012、
Windows Server 2012 R2

SharePoint 2010/2013/2016

.NET Framework 3.5

SharePointサーバ、データ
ベース、サイトコレクション
に対する管理者権限

Azure Turbo BoostによるOffice 365の移行の高速化 - SharePoint Online Migration APIの高速化により、Notes文書、メタデータのOffice 365ドキュメント、Wikiライブラリへの移行が大幅に高速化します。

ルールベースの自動化 - 分析中に収集されたデータに基づき、カスタマイズ可能なルールベースのエンジンを活用して、新しいターゲットの場所と移行ジョブを割り当てることができます。標準的なNotesアプリケーションに対して既定のルールを使用することや、カスタムアプリケーションに対して独自のルールを定義することができます。必要に応じて設計作業を再利用し、数百の個別の移行ジョブを自動化することで、移行を迅速に完了でき、エラーの発生率を削減することができます。

簡単なプロビジョニング - 新しいSharePointサイト、サブサイト、リスト、ライブラリをソースインフラストラクチャに基づき、自動的にプロビジョニングできるため、IT部門の負担を軽減できます。例えば、カスタムNotesアプリケーションのスキーマをSharePointのリストやライブラリに迅速に複製できます。社内開発したSharePointサイトやリストをカスタムテンプレートとして再利用でき、移行したコンテンツの新しいターゲットを最初からプロビジョニングすることもできます。

高い再現性 - Migrator for Notes to SharePointは、Notesのリッチテキストや複雑なアプリケーションデータを高い再現性で損失なく移行できるため、ユーザーによる移行プロセスが円滑に行えます。キーワードフィールド、複数値アイテム、ネストされたテーブル、埋め込みオブジェクト、文書メタデータ、セキュリティ属性など、すべての重要なデータを保持できます。また、文書リンクが確実に維持されます。文書がSharePointに移行済みか、移行されていないか(Notes上にあるか)に関わらず、適切に文書リンクがリダイレクトされます。

豊富な文書移行 - ビジネス目標を最も高いレベルで達成するために、リストやライブラリだけでなく、さまざまなアプリケーションの移行オプションを選択できます。次に例を示します。

- ユーザーが直感的に使えるページ指向型の操作を求めている場合は、SharePoint wikiページ、基本ページ、コンテンツ発行ページに移行します。

- Word、HTML、PDF、PDF/Aなどに移行すると、実用的な形式で文書をアーカイブしつつ、元のレイアウトとコンテンツを維持できます。
- Notes文書をInfoPath XMLドキュメント、Webパーツページまたはカスタムフォームレイアウトを必要とするアプリケーション用のカスタムWordテンプレートなどに移行します。

複雑なアプリケーションアクセラレーター

Migrator for Notes to SharePointでは、コンテンツタイプとして使用されているNotesフォームや複雑なデータ機能を含むアプリケーションを判別することにより、移行要件を正確に特定できます。これにより、以下のことが可能になります。

- Notesデータベース内の符号語の検索とレポート作成を迅速に行うことで、アプリケーションの複雑さをより詳細に把握できます。
- SharePointの標準機能を使うことで、高コストな開発リソースを必要とせずに、アプリケーションコンテンツを移行できます。
- Notesフォーム設計を、Nintexフォームデザイン、InfoPathリストフォーム、フォームライブラリに素早く簡単にフォーム変換できます。
- NotesビューをSharePointビューに素早く簡単に変換できます。
- NotesデータをSQL Serverテーブルに移行することで複雑さを軽減できます。

詳細情報

NotesやDominoから移行するためのQuestソリューションの詳細については、quest.com/solutions/lotus-notesをご覧ください。

QUESTについて

Questは、単調な管理タスクを減らし、ビジネスの成長に必要なイノベーションに集中できるよう、お客様をサポートします。スケーラブルかつ低コストで使いやすいQuest®のソリューションにより、効率性と生産性を最大限に高めることができます。Questは、グローバルコミュニティの一員としてイノベーションに取り組むための環境をお客様に提供すると共に、お客様の満足を追求しています。今後も、Azureクラウド管理、SaaS、セキュリティ、モバイルワーク環境、データ主導の洞察のための包括的なソリューションの提供を加速化してまいります。